



大用中だより

No. 20

令和5年12月25日（月）発行

四万十市立大用中学校（文責）田辺

2学期が終了しました。8月末の始業式で『みんなが1日1日を大切に、何事にも全力で取り組み、実り多い学期にしよう』と確認し合って81日間を過ごしました。全員がいつもこのことを意識し学習に部活動に学校行事にと充実した2学期を過ごすことができました。We can do it!を合言葉に力を合わせて最後までやり抜いた保小中秋季大運動会、酒米の収穫、地域清掃のクリーンキャンペーン、小中合同で行った合奏・合唱などたくさんの活動・学校行事を4人がアイデアを出し合い、工夫しながら見事やり抜きました。どの行事でも1人1人が周りのことを考え、みんなが楽しめるよう配慮しながら取り組む姿に感動した日々でした。また、今年はこれまで以上に「地域を知ろう・地域への感謝を伝えよう」と季節の食材を使った寿司づくりや薫ごしらえを教えてくださいました。そして、ふるさと祭の準備や新聞づくりなど、様々な工夫をしながら「ふるさと大用」と向き合ってきました。今学期は特に、地域の方々と触れ合ったりものづくりに挑戦するなど、教科での学習以上に大切な勉強・体験を積むことができました。もちろん、学習面や部活動においても、各人が自分が目指す姿を描き、目標を決め、目標達成に向けて計画的に見通しをもちながら、日々努力を重ねることができました。日々、努力を重ねることで心も体も大きく、たくましく成長したことを心から嬉しく思います。実り多い2学期につなげることができた全校生徒を誇らしく思います。

明日から冬休みが始まります。頑張った2023年を新しい年2024年に上手につなげ、より輝かしい1年となることを祈っています。

保護者や地域の皆様、いつも子どもたちを優しく見守り、声かけや応援してくださり、今学期もお世話になりました。ありがとうございました。どうぞよいお年をお迎えください。

赤い羽根 共同募金

今年も全校生徒と全教職員で参加しました。

12/7に生徒会長から

2,492円を寄付しました。



部活動お別れ会をしました。

